



Cisco Digital Media Encoder 2200 クイックスタートガイド

Quick Start Guide for Cisco Digital Media Encoder 2200

OL-17933-01-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

ビデオのストリーミングまたはキャプチャを行うように Cisco Digital Media Encoder 2200 を設定するにあたり、次の 5 つの要件があります。

- AC 電源 (100 ~ 240v)
- オーディオ/ビデオ ソース (カメラ、ビデオ プレーヤー、その他の A/V 出力デバイス)
- IP ネットワークやインターネット接続
- 初回使用時のセットアップ
- 多くの視聴者にコンテンツをストリーミングするストリーミング メディア サーバ

日常的に行うほとんどの基本操作は、エンコーダの前面パネルから行います (図 1)。

図 1 前面パネル



(注) エンコーダ セッションを実行する前に、エンコーダの詳細セットアップ オプションを修正する必要があります。これらのオプションには **Niagara SCX® Web Interface** を使用してアクセスします。詳細な操作手順については、『*User Guide for the Cisco Digital Media Encoder 2200*』を参照してください。

電源の接続

付属の電源コードをコネクタ (図 2) と AC 電源またはコンセントに接続します。

図 2 100 ~ 240 ボルト、AC、50 ~ 60 Hz の AC 電源コネクタ



図 3 に、エンコーダの背面パネルを示します。背面パネルのオーディオおよびビデオ入力セクションは、オーディオおよびビデオ ソースとエンコーダの接続に使用します。

表 1 の説明と図を参考にして、エンコーダに適切なデバイスと電源を接続します。

図 3 背面パネル

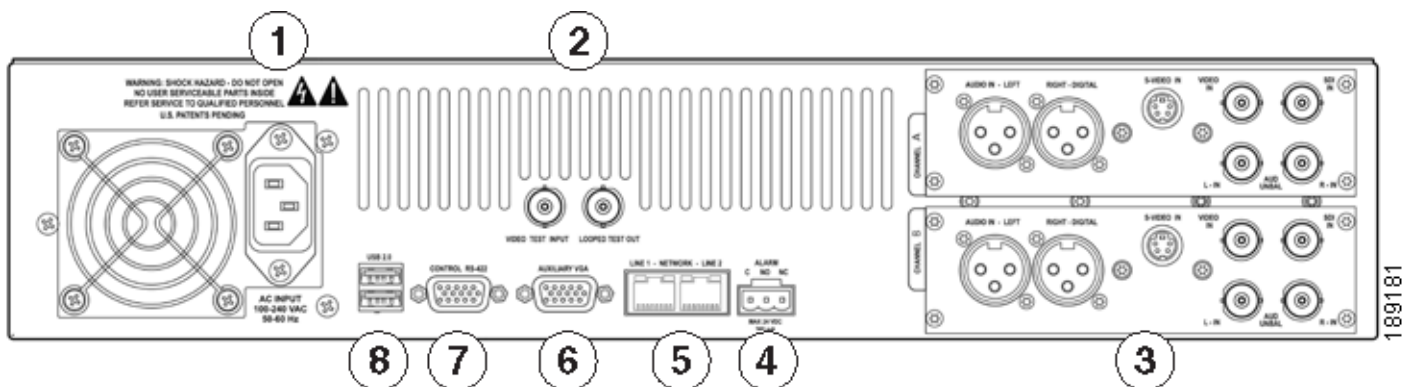
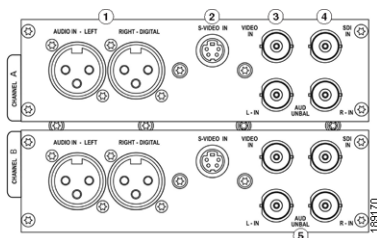


表 1 背面パネルの説明

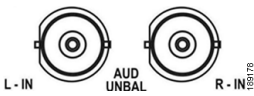
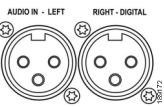
| ポート | 説明 |
|--------------------------|---|
| 1 AC 電源入力 | システムに電力を供給します。 |
| 2 ビデオテストポート | コンポジットビデオ端子 (IN/OUT) 用の BNC コネクタ。カラーバージェネレータなどのビデオテスト信号を接続して、ビデオキャプチャセッションのビデオ設定を調整できます。 |
| 3 チャンネル A & B AV 入力 | <p>各 AV 入力チャンネルに次の入力ポートがあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 左右の XLR コネクタは平衡オーディオソース用、右の XLR コネクタは AES/EBU オーディオ用。 2. S-Video ソース用の Mini-DIN コネクタ。 3. コンポジットビデオソース用の BNC コネクタ。 4. SDI エンベデッドオーディオ付き SDI ビデオソース用の BNC コネクタ。 5. 不平衡オーディオ用の左右の BNC コネクタ。 |
| 4 アラームリレーコネクタ | 外部装置 (音響ベルやブザーなど) を接続します。システム障害が発生すると、外部装置から音が鳴ります。 |
| 5 ネットワークポート (Line 1 & 2) | 2つのイーサネットポートを備えているため、ネットワークへの冗長接続が可能です。 |
| 6 補助 VGA コネクタ | 外部 VGA モニタを接続して、オペレーティングシステムインターフェイスを表示できます。 |
| 7 制御 RS-422 コネクタ | (特徴) 9ピンコネクタ。RS-422 プロトコルを使用してエンコーダを制御でき、ブロードキャストスタジオマスターコントロールセンターとの統合を提供します。これは、デッキコントロールソフトウェアで使用できる標準 RS-422 ポートです。 |
| 8 USB 2.0 コネクタ | キーボードとマウス、USB メモリデバイスなど、USB コントロールデバイスを接続します。 |



オーディオおよびビデオ ソースの接続

表 2 および表 3 に、背面パネルのオーディオおよびビデオ ソースを示します。

表 2 オーディオ ソース



| ソース | 説明 |
|---|--|
| <p>不平衡オーディオ入力</p>  | <p>これらの RCA アダプタ付き BNC コネクタには、左右のステレオ入力があります。RCA コネクタは、標準的なコンシューマステレオオーディオ接続で、ほとんどのビデオプレーヤーやビデオカメラが備えています。</p> |
| <p>平衡オーディオ入力</p>  | <p>これらの XLR コネクタには、左右の平衡ステレオ入力があります。XLR コネクタは、プロのオーディオエンジニア向けで、高性能オーディオおよびビデオ再生機器が備えています。</p> <p>右側の XLR コネクタは、AES/EBU オーディオ接続にも対応しています。</p> |



(注)

このエンコーダは BNC-RCA アダプタを備えています。このアダプタは、コンポジット BNC コネクタを一般的な RCA コネクタ（ほとんどのコンシューマビデオカメラやビデオプレーヤーが備える）に変換します。

表 3 ビデオ ソース

| ソース | 説明 |
|--|---|
| コンポジット BNC 入力  | このエンコーダは BNC-RCA アダプタを備えており、この BNC コネクタにはコンポジット RCA ビデオ ケーブルを接続できます。コンポジット RCA コネクタは、ビデオプレーヤーやビデオカメラなど、ほとんどのビデオ再生機器が備えています。コンポジット BNC コネクタは、プロフェッショナル向けのビデオ再生機器が備えています。 |
| S-Video 入力  | これは、標準的なコンシューマビデオコネクタで、ほとんどのビデオプレーヤーやビデオカメラが備えています。 |

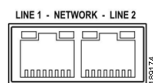
IP ネットワークへの接続

このエンコーダは、2つのネットワーク接続を利用します。

1. プライマリ ネットワーク接続 (図 4 の LINE 1)
2. セカンダリ ネットワーク接続 (図 4 の LINE 2)

上記の2つの接続は IP ネットワークを提供します。このエンコーダは、ビデオとオーディオを IP ネットワーク経由で送信するため、これらのコネクタは出力接続とも呼ばれます。

図 4 RJ-45 イーサネット コネクタ



(注)

ネットワーク プロトコルについて詳しくない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

このエンコーダは、ネットワーク上の DHCP サーバから IP アドレスを動的に取得するようにデフォルトで設定されています。

DHCP サーバを利用できない場合やネットワーク上で検出できない場合は、独自の IP アドレスが割り当てられます。

ほとんどのネットワーク環境では、これらのデフォルト設定を修正する必要はありません。ただし、エンコーダの Network Interface Card (NIC; ネットワーク インターフェイス カード) に固定 IP アドレスを割り当てる場合は、前面パネルのメニューを使用してネットワーク設定を変更できます。詳細な操作手順については、『*User Guide for the Cisco Digital Media Encoder 2200*』を参照してください。

マウス、キーボード、および VGA 接続 (図 5) は、シスコ認定の現場技術者がサービスとメンテナンスにだけ使用します。

図 5 メンテナンス コネクタ






(注) マウス、キーボード、および VGA モニタを操作に使用することはお勧めしません。

初回使用時のセットアップの実行

エンコーダの電源を初めて入れると、LCD ディスプレイに一連のメニューが表示されます。これらのメニューから、時間帯、システム クロック、日付、およびビデオ入力フォーマット (NTSC [北米/日本] または PAL) の設定を行います。

表 4 に、初回使用時のセットアップで使用する前面パネルのボタンを示します。

表 4 前面パネルのボタン

| アイコン | 説明 |
|---|------------|
|  | 電源ボタン |
|  | ENTER ボタン |
|  | 上下矢印キー |
|  | STREAM ボタン |

1. エンコーダを起動するには、前面パネルの電源ボタンを押します。

2. 電源投入プロセス時に、エンコーダの LCD に次のメッセージが表示されます。

```
ViewCast Corporation
Niagara 5.2.187.0
Serial: G55072117
Booting . . .
```

189175

3. エンコーダが初めて起動した後は、次のメッセージが表示されます。

```
Welcome to setup:
Set time, date, and
video format.
PRESS ENTER ...
```

188228

4. ENTER ボタンを押して、初期設定を開始します。
5. 日付の指定を促すメッセージが表示されます。

```
Enter Date
MM-DD-YYYY
06-15-2006
Enter to Accept
```

188230

6. 月数と日数を設定するには、上矢印ボタンと下矢印ボタンを使用して月数を設定します。
7. 月数を設定したら、STREAM ボタンを押して日数フィールドに移動します。
8. 再度、上矢印ボタンと下矢印ボタンを使用して日数を設定します。
9. STREAM ボタンを押して数字を入力し、年数フィールドに移動します。
10. 月数と日数の設定手順と同じ方法で年数を設定します。
11. 前に設定した数字を変更するには、カーソルが月数に移動するまで、STREAM ボタンを押し続けます。
12. 適切に設定できたら、ENTER ボタンを押して設定を確定し、次の画面に移動してシステム クロックを設定します。
13. このエンコーダは、システム クロック エントリに軍用時間（24 時間形式）を使用します。

```
Enter Time
HH:MM
16:00
Enter to Accept
```

188233

14. 上矢印、下矢印、STREAM、および ENTER ボタンを使用して、システム クロックの時間と分を設定します。
15. 適切に設定できたら、ENTER ボタンを押して設定を確定します。
16. 最後に、エンコーダのビデオ入力フォーマットを選択します。
17. 次のメッセージが表示されます。

```
Select the video
format to use for
all encoders.
PRESS ENTER ...
```

188234

18. ENTER ボタンを押して操作を続けます。
19. ビデオ ソース フォーマットとして、NTSC または PAL を選択します。



20. ENTER ボタンを押してフォーマットを設定すると、最後の画面に、エンコーダが正しく設定されたことを示すメッセージが表示されます。



21. ENTER ボタンを押して設定メニューを終了すると、エンコーダを使用できるようになります。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0809R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2002-2008 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2009, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。